

授業科目名・形態	生活支援技術論Ⅱ	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	関口 麗子		実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心身の構造や機能を学び、各種の病気や障害の理解につなげることができるように学習する。

【到達目標】

- 1) 介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる人間の心身の構造と機能の基礎的な知識を理解する。
- 2) 生活支援の場面に応じた、心身のしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する。
- 3) 人生の最終段階における心身の変化について理解し、医療従事者との連携の重要性を学ぶ。

【授業計画・内容】

- 第1回 入浴・清潔保持に関連したしくみ ①皮膚の構造と機能
- 第2回 入浴・清潔保持に関連したしくみ ②入浴と清潔の意義と必要性
- 第3回 入浴・清潔保持に関連したしくみ ③心身機能の低下が及ぼす影響
- 第4回 入浴・清潔保持に関連したしくみ ④変化への気づき、対応
- 第5回 排泄に関連したしくみ ①排泄の構造と機能
- 第6回 排泄に関連したしくみ ②排泄のメカニズム
- 第7回 排泄に関連したしくみ ③心身機能の低下が及ぼす影響
- 第8回 排泄に関連したしくみ ④変化への気づき、対応
- 第9回 食と排泄について考える ―事例を通して―
- 第10回 休息・睡眠に関連したしくみ ①睡眠のしくみと心身機能の低下が及ぼす影響
- 第11回 休息・睡眠に関連したしくみ ②変化への気づき、対応
- 第12回 人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみ ①「死」を理解する
- 第13回 人生の最終段階のケアに関連したところとからだのしくみ ② 死生観
- 第14回 人生の最終段階のケアに関連したしくみ ③ 終末期から「死」までの変化と特徴
- 第15回 人生の最終段階のケアに関連したしくみ ④医療従事者との連携

【授業実施方法】

講義形式で行い、DVD、ビデオ等を活用する。

【授業準備】

予習においては教科書の該当頁、関連書籍の該当頁を読み、理解できない箇所を明確にする。

【主な関連する科目】

人間の理解、発達と老化の理解、日常生活支援技術Ⅱ

【教科書等】

「最新・介護福祉士養成講座11 ところとからだのしくみ」 <中央法規>

【参考文献】

適宜、紹介します。

【成績評価方法】

小試験・後期定期試験90%、・授業態度等10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療機関での看護職として患者や家族への対応等を経験。臨床場面での患者や組織のマネジメントの経験を活かし、ところとからだのはたらきやしくみに関する基礎知識を理解し、それが生活機能に結びついていることを、総合的に学習できることを目指します。

【学生へのメッセージ】

身体各部の名称や、医学的な専門用語等、解りづらいことも多いとおもいます。

自分自身の身体と行動に結びつけ、理解するよう努力しましょう。人生最終段階のケアに於いては、自分の望む生き方や最期の過ごし方について関心を持ち死生観を育みましょう。